

**世界初!\*** ひざのトラブルを予防する **SHM** 機能

※世界初の特許登録商品として

**踵部に配置したスクリー構造部分の働き**

人のひざには、「Screw Home Movement」という働きがあります。これは、「ひざの正常な回旋運動」を表す生体工学用語です。踵が地面に着くとき、太ももの骨(大腿骨)に対し、ひざ下の骨(脛骨)が外側に少し回旋する動きをいいます。この動きにより、ひざへの負担を軽減し、安定性・支持性を確保しています。アサヒメディカルウォークは、健康なひざに備わっているこの仕組みを補助する世界初の機能『SHM機能』を搭載しています。

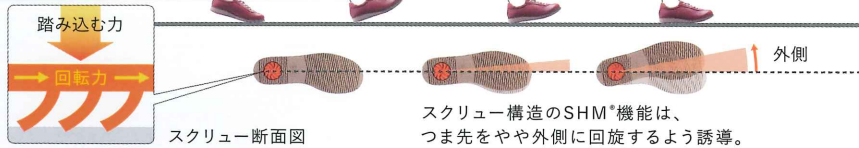
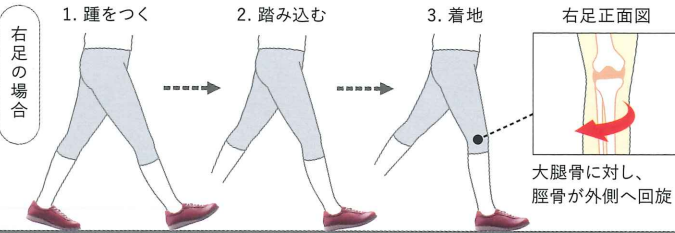


スクリー構造

**SHM** 機能の3大メリット

**1. ひざ関節を守る理想的な歩行をサポート**

踵の着地時にスクリー部のフィンが体重圧でたわみ、踏み込むとつま先をやや外側に回旋。ひざに備わった回旋運動を補助し、正しい歩行を促します。



スクリー構造のSHM機能は、つま先をやや外側に回旋するよう誘導。

**2. ひざへの衝撃を分散吸収しやすい構造**

踵から着地する際、踵から伝わる衝撃はひざの負担になります。SHM機能はゴムの弾力で衝撃を吸収。さらに、スクリー構造が体重圧を分散し、効率的に負担を軽減します。

ひざには、通常の歩行時で体重の約2倍の衝撃がかかると言われています。階段の昇り降りは約3倍、走るときにいたっては、約5倍もの負担がひざにかかっています。\*



衝撃を分散

**3. ひざを安定させるもの内側の筋肉への働きかけ**

歩行時のひざを安定させ保護する役目を担うのは、ももの内側の筋肉(内側広筋)。スクリーホームムーブメントを促すSHM機能は、ももの内側の筋肉を効率よく活動させ、正しい歩行へ導きます。



ももの内側の筋肉(内側広筋)

特許取得	特許第3992724号	韓国特許第10-0918230号	中国特許ZL200680010617.5	香港特許HK1113065
------	-------------	------------------	----------------------	---------------

\*着用時の使用感や経過には個人差があります。\*アサヒメディカルウォークは医療器具ではありません。  
\*「機能解剖から見た撮影 下肢編」安藤 英次著より引用  
\*踵部のスクリー構造は着地時にゴムの弾力でスクリーがたわむことで下肢の運動をサポートするもので、スクリー自体は回転致しません。

「SHM機能」に加えて、多彩な機能



**フットグラファー®ラスト**

当社独自の足型測定器「フットグラファー®」により、全国で測定されたデータを基に作られた快適設計の足型です。



**フットグラファー®インソール**

「フットグラファー®」の分析により、足の裏にかかる足圧を最適に各部位に誘導。へたりにくくソフトな使用感です。



**メディカルインソール5**

メディカルインソールの特許機能に、さらに踵部へ衝撃吸収材「ズレン」を付加しました。



**ロック式ファスナー**

握りやすい持ち手で開閉しやすく、着脱スムーズ。ファスナータブ(引き手)を前に倒せばファスナーをロックできて安全です。また、フィット感を損なわずに歩けます。



**リアフィットラスト**

かかとの上部をしっかり絞り込み、下部は荷重で膨らむかかとをしっかり支持することで、足抜けしにくい形状です。



**リスフランサポート**

側面から甲にかけて補強材を配置。足根中足関節をサポートすることで、立脚期からトーオフまでの前足部の動きが安定し、歩行を快適にします。



**ストレスフリー構造**

甲部とペロ部を一体とすることで、足あたりを無くした足に優しい構造です。



**メディカルスタビライザープレート**

歩行時の自然な足の動きのひとつに、足首が内足側に倒れ込む「回内」があります。この回内(プロネーション)運動が、足の縦アーチの崩れなどで過度に倒れ込む状態になることを、過回内(オーバープロネーション)と言い、ひざ関節にも負担が生じます。メディカルスタビライザープレートは硬質のEVAプレートで、内足側を厚くすることにより内側への沈み込みを抑制し、足への負担を軽減しやすい構造です。